

令和2年7月30日（木）～8月14日（金）

第4期さいたま市外国人市民委員会第1回委員会 書面会議の意見概要について

令和2年7月30日（木）から8月14日（金）まで各委員に対し意見を求めたところ、以下の意見の回答があった。

議題1「第4期さいたま市外国人市民委員会のテーマについて」

委員意見

①ゴンザレス・アドリアナ委員

- ・テーマ案「外国人が住みやすい地域づくりの為にすべきこと」

テーマ選定理由

- ・さいたま市に引っ越した際に、市の案内が少なく、地域のことがわからない
- ・外国人は、地域、自治会への関わり方がわからないため、説明が欲しい
- ・外国人がさいたま市へ引っ越して来たくするようなPRが足りない
- ・住んでいる地域の日本語の勉強、日本のマナーやルールを教えてくれるところが少ない

解決策

- ・市の担当者が自治会、学校へのリーダーシップをとって市、自治体、学校でのオリエンテーションを行う
- ・自治会、国際交流センターの紹介
- ・市のホームページをもっと良くする
- ・市の担当者と不動産会社、自治会とのコミュニケーションを強くして情報交換を行う
- ・自治会を使っの日本文化、日本語勉強会のボランティア活動を行う

②リム・キョンヒ委員

- ・テーマ案「コロナ時代における日本人と外国人の交流方法やオンライン交流時のプライバシー保護について」

テーマ選定理由

コロナ時代の今、人々の交流が少なくなりました。特に外国人は社会との関わりが希薄になる可能性が高いため何かよい交流方法が必要になると思います。

また様々な分野でオンラインが活用されており、日本人と外国人のコミュニケーションの手段としてよいと思いますが、その一方でプライバシーの保護も考えていく必要があると思います。

③ラ・コウ委員

・テーマ案「外国人家族に対する日本語教育の支援について」

テーマ選定理由

さいたま市では、毎年外国人人数が増えています。その中に日本語が出来ない人はたくさんいます。彼らに充実した勉強場所の提供と日本語教室を作る必要があります。彼らがさいたま市で安心して生活するため、支援する必要があります。

④オウ・ライ委員

・テーマ案「国際的な街づくり」

テーマ選定理由

外国人は同じ国の人と友達作りしやすいという特徴があります。周りの日本人とのコミュニケーションは不安を持っている人が多いです。また、日本人も外国人に誤解を持っている人も多いです。お互いの理解を促進するために、イベント開催やパンフレットの配布などを行って、コミュニケーションをしやすい環境をみんなと一緒に作りたいです。さいたま市は外国人の住民が多いけど、国際的な感じはあまりないと思います。外国人はコミュニケーションの壁を超えることができれば、もっと生活が楽しくなると思います。そうすることで、さいたま市は誰でも住みやすい、国際的な街になると思います。

⑤イ・ユジン委員

・テーマ案「育児や子供の教育、子育てのための情報案内」

テーマ選定理由

私は今ちょうど子育て中のママです。仕事あるので保育園に行かせています。日本の子育ての話や方法を話したいですがなかなか機会がありません。日本のママ(ママだけじゃなくてパパも)たちと多文化のママ・パパたちの意見や知りたい情報を共有できるサービスがあったらいいなと思います。これからもっと増える外国人の子供達、家族が日本の生活への混乱を減らせるように育児の段階からちゃんとした話をする必要があると思います。

⑥里村・オアナ委員

・テーマ案「外国籍の住民として住みやすいまちづくり」

テーマ選定理由

実生活において、国や自治体からの書類などが英訳されておらず、不便を感じる。英語の携帯アプリなどの充実を行って、もっと住みやすいまちにしてほしい。

⑦西川・ナンシ委員

・テーマ案「国籍の違いに関らず、全ての市民が安心して暮らせ、その能力を十分発揮して活躍することができる多文化共生社会づくり」

テーマ選定理由

これから来日する外国人は日本を『働き、生活していく場所』として考えている人が増えてい

くと思われます。定住化・永住化に伴い自国の文化と異なる環境で生活する事により彼らの抱える家族や生活問題は複雑化・多様化・深刻化していく事が予想されます。

学校適応困難、親子のコミュニケーションギャップ、生活困窮者、離婚、失業、言葉の壁や日本の社会制度への知識不足などで公的支援にたどり着けない者など、

解決策

- ・これまで行われてきた日本語教育支援や単発の多言語による生活情報提供に加え、
- ・やさしい日本語の普及
- ・異なる文化的背景を持つ人に対する専門知識を持った『多文化ソーシャルワーカー』の支援（相談から問題の解決までの継続的に支援が行える人材の育成）
- ・本人だけではなく、その人を取り巻く家族、コミュニティー、行政機関との連携や協力（地域の様々な国際交流団体の情報共有をする事によって選択肢を増やす）
- ・外国人が主体的に自分の能力を発揮し活躍できる場の提供（相談窓口を兼ねた：多文化 CAFE ← 外国人や地域の人が自由に立ち寄れる）

⑧ヒューズ・リアンダー委員

- ・テーマ案1「外国人に魅力のある観光都市」
- ・テーマ案2「外国人の保護者に配慮した学校での取組み」
- ・テーマ案3「外国人にわかりやすい防災・災害対応」

テーマ選定理由

テーマ案1：観光

①さいたま市ナイトマーケット案

さいたま市は山も海もないし、特に目立った観光はない。そんなさいたま市で他の市と対抗しても無理がある。そこで、提案がナイトマーケットのようなものをつくるのはどうだろうか。例えば：タイやハワイのナイトマーケット、九州の屋台村など。 埼玉県の食文化（冷や汁、うどん、焼き鳥みそだれ、フライなど）やお土産、雑貨店などを集める。これから日本の夏はさらに暑くなる事が予想されるので、夜、散歩がてらナイトマーケットのようなものが出来ると、さいたま市としての魅力度が上がる気がする。

②岩槻に城を建てる

例えば小田原城のような感じ。中途半場な城だと、ただの税金の無駄遣いになる（行田の城みたいな）になるので、作るなら大きい城を作るといい。外国人は意外と好きだと思う。

テーマ案2：学校

学校からくる書類が日本語で分からない。何が大事な書類で、大事じゃないのか分からない。提出しないといけない書類を見逃したり、記入方法が違っていただけで、子供が先生に怒られてし

まった。先生も子供に怒らないで、親に連絡をしてほしい。学校の書類のペーパーレス、ネット化を進めてほしい。英語に通じる職員を一人置いてほしい。子供に対する対応も大事だが、親に対応できる職員を学校に一人配置してほしい。

テーマ案3：防災・災害

去年の台風の時、「命を守る行動を」ばかり、アナウンスしていて、何をしたいのか、どこに行きたいのか、避難所がどこなのか、分からなかった。防災無線も日本語だし、何を言っているのか理解できなかった。携帯電話のメールに届くメッセージも日本語なので、英語で送ってほしい。

⑨ライ・ウダラ委員

- ・テーマ案1「働きやすさについて」
- ・テーマ案2「外国人家族に対する日本語の教育の支援について」
- ・テーマ案3「住みやすさについて」
- ・テーマ案4「日本人と外国人の相互理解について」

テーマ選定理由

テーマ案1：働きやすさについて

①2010年国勢調査のデータを見ると、さいたま市の産業分類は「その他のサービス業」が37.3%を占めており、サービス業の会社から外国人を雇うツールに繋がるよう、「さいたま市サービス業、外国人働きやすい集会／検討会」を実施するのはどうか？そうすることで、在住外国人の方が、職が見つからない、自己能力、特技を発揮できる仕事が見つからないといったことを回避できるのではないかと思います。また、市としてそうした企業と情報を共有し、雇用に繋げてもらうといったことや、外国人に対して就業に繋がる知識やトレーニングを提供する必要があります。（職業紹介ではなく、あくまでも場を作るという役割を果たすことが重要であると思います）

コロナの影響によって、就職も困難な状況であるが、さいたま市に「外国人の働きやすさ」を率先して取り組んでいただけると嬉しく思います。

②さいたま市内もしくは周辺に拠点を置いている企業と連携し、外国人が興味を持つ企業へ応募できるように、橋渡しを行ってほしい。企業が求めている外国人、外国人が求めている企業を知ることで、今後の働きやすさにもつながると思います。日経や海外コンサルティング会社ではなく、エージェント・コンサルタント会社を使わない会社や、高い人材紹介手数料を払うことができない、中小企業に視点を置き、必要な情報を伝えあえることが、双方にとってプラスになると思います。

テーマ案2：外国人家族に対する日本語の教育の支援について

日本に住む外国人が、どれだけ周りの日本人と問題なく交流やコミュニケーションが図ることが

できるのでしょうか？さいたま市は、来日した外国人に対して、日本語のボランティア教室や、無料授業などを提供してきたことと思います。ただし、どのくらい日本語が上達したのでしょうか？案として、漢字圏の出身以外の方が、日本語を習得できるよう、日本語テストを行ってもらい、モチベーションを上げるために、日本語テストを受けて、1年以内に点数があがったら、500円の商品券を差し上げるなどといった方法はどうか？外国人が日本語を学ぶ支援や、モチベーションが上がる方法を提供することも重要であると思います。

②土橋・アウロラ委員

・テーマ案「コミュニケーションと子どもの教育」

テーマ選定理由

こどもがいる外国人の親は、言語の壁があるため、学校で子どもがどのようなことが起こっているのか理解ができないため、多言語での情報共有をしてほしい。

議題2「委員長の選任について」

賛成 10

反対 0

令和2年7月30日(木)～8月14日(金)

第4期さいたま市外国人市民委員会第1回委員会

テーマ別意見まとめ

1 日本語支援

- ・地域での日本語の勉強や、マナーを教えてくれる場所が欲しい
- ・自治会を使って日本文化や日本語勉強会の活動を行ってほしい
- ・さいたま市の外国人数は増えているが、日本語ができない人が多くいるため、日本語教室や、勉強場所の提供を行ってほしい
- ・日本語習得の支援として、日本語テストの実施や、1年以内に点数があがった方に対し、商品券を差し上げるといったことで、モチベーションアップを図ってほしい

2 多言語化

- ・市役所や学校からの書類がわかりにくく、多言語にしてほしい
- ・多言語による生活情報の提供や、やさしい日本語の普及を行ってほしい

3 就労支援

- ・さいたま市内や周辺に拠点を置いていて、外国人の人材を求める中小企業と連携し、外国人が興味を持つ企業へ応募できるよう、就労の橋渡しを行ってほしい
- ・外国人に対し、就業に繋がる知識やトレーニングを提供してほしい

4 子育て・学校

- ・日本のパパ・ママと話す機会がなく、意見や知りたい情報を共有できるサービスがあったら良い
- ・学校の書類のペーパーレス、ネット化を進めてほしい
- ・子どもだけでなく、親ともコミュニケーションがとれるよう、英語ができる職員を各学校に一人配置してほしい
- ・子どもがいる外国人の親は、言語の壁があるため、学校で子どもがどのようなことが起きているのか理解ができないため、多言語での情報共有をしてほしい

5 コミュニティ・多文化共生

- ・地域や自治会への関わり方がわからないため、説明が欲しい
- ・互いの理解の促進のため、イベントの開催やパンフレットの配布を行ってコミュニケーションをしやすい環境を作りたい
- ・異なる文化的背景を持つ人に対する、専門知識を持った「多文化ソーシャルワーカー（相談から問題の解決までの継続的支援を行う）」の支援及び人材育成を行ってほしい
- ・相談窓口を兼ねた「多文化カフェ」を作り、外国人や地域の人が自由に立ち寄れる場所がほしい

6 防災

- ・防災無線が日本で何を言っているかわからず、メールも日本語であるため、多言語でメールを送ってほしい

7 情報発信

- ・市の HP の改善を行ってほしい
- ・さいたま市に引っ越してきた際に、市の案内が少なく、地域のことがわからない
- ・外国人がさいたま市へ引っ越して来たくなるような PR が足りない
- ・自治会、国際交流センターの紹介を行ってほしい

8 コロナ禍における交流方法と、プライバシー

- ・コロナ禍において、外国人と地域のつながりが希薄になることが考えられる。オンラインでの交流が重要となってくると思われるが、一方プライバシーの保護についても考えていく必要がある

9 観光

- ・さいたま市の魅力度を向上するため、さいたま市の食文化やおみやげ、雑貨店などを集めた、ナイトマーケットのようなものを作ってほしい
- ・外国人が好きなお城を岩槻に作ってほしい

令和2年8月18日(火)～8月31日(月)

第4期さいたま市外国人市民委員会第1回委員会 テーマ希望について

各委員からの意見をテーマ別にまとめ、令和2年8月18日(火)から8月31日(月)まで希望するテーマについて照会を行ったところ、以下のとおりとなった。

①日本語支援 2件

理由：

- ・さいたま市は、たくさんの外国人の方がいます。その中で、日本語がわからない人もたくさんいます。彼たちと彼たちの子どもに、地域的に分けて、保育もできる日本語教室を作る必要があると思う。
- ・学校や就労、情報発信どの分野においても日本で生活する上で基本的に、日本語が共通言語だから！

②多言語化 0件

③就労支援 2件

理由：

- ・今はコロナウイルス感染症で、特別のときです。仕事がない外国人がたくさん増えています。彼たちは生活のために、たくさんの仕事を紹介案内する必要があります。自分の考えは、市内で今年に一回外国人ための企業面接会を開催したら、いいです。外国人たちにすごく助かります。
- ・大都市であるさいたま市には既にたくさんの外国人の方々がいます。彼らが私たちのコミュニティに溶け込むために仕事が必要です。但し、仕事を得るのは、自力で難しい点があります。支援が出来れば良いのではないのでしょうか。

④子育て・学校 4件

理由：

- ・個人的に一番興味があるテーマでもあって、多くの外国人の家庭が知りたがっているテーマと考えられるため
- ・外国人が日本で生活し家庭を営む上で、子育て・学校生活に関する関わりは欠かせないものであり、本人だけの問題でなく家族全体の問題となるため。
- ・外国人として日本で子供を産む、育てるのは色んな不安がありました。コミュニケーションはメイン。自分はいくらでも日本語が得意じゃないのに、保育園の会員とか、学校のPTAをやらなければならない。それはとても大変でした。
- ・外国人の子供やその親たちが、困っている状況を解決する必要がある。

⑤コミュニティ・多文化共生 3件

理由：

- ・外国人が地域、自治会に関われるような仕組みについて話し合いたい。

・子育てを含み、外国人が日本で生活する上で、いかに地域社会や自身が所属するコミュニティに関わりをもち多文化共生を実現していくかという事が重要なテーマとなるため。(日本人が外国人との関わり方を考える上でも大切なテーマになると考えております。)

・多文化共生するには、皆さんが提案した全ての案件が必要だから。日本で生活するには地域との連携が大切だから。

⑥防災 2件

理由：

・日本は地震、火災が多い国です。日本の市民たちは、保育園からこの訓練を受けています、しかし、多くの外国人たちは、この訓練は受けたことはないです。意識はとても浅いです。私の考えでは、市内では、意識が浅い外国人たちを集めて、避難知識と訓練を教える必要があります。

・自分の国では災害はほとんどないから、外国人向けの防災トレーニングとかが必要と思います。

⑦情報発信 2件

理由：

・外国人はさまざまな理由で情報獲得が難しく、それによって多くの問題が発生します。みんなが安心して生活できるように情報共有ができるようになってほしいから

・区役所に行った時に外国人がわかるような案内板の作成や、呼びかけ出来るような仕組みについて話し合いたい。

⑧コロナ禍における交流方法と、プライバシー 0件

⑨観光 3件

理由：

・さいたま市は政令都市で、たくさんの観光地があります。しかし、宣伝はまだ不足であると思います。これから、訪日外国人客もどんどん伸びます。さいたま市は東京に近いから、とても便利です。特色ある旅行コース、日本文化体験コースを作る必要があります。

・観光客が増えれば、それに付随した産業も増え、外国人の仕事もふえ、国際的な街として魅力も上がると思うから。

・日本政府毎年の歳入について、各地域に観光事業に深くつながっています。さいたま市も同じく、観光事業の拡大は、収入増加に繋がります。また観光促進を通じて、国際交流など色々なことに延伸、発展できるのではないかと思います。